



【NO.05】2023年 秋  
本願寺吉崎別院だよりよっさきさん

発行

本願寺吉崎別院  
〒922-0679 福井県あわら市吉崎1-201  
電話/FAX:0776-75-1903

# 東西有志僧侶による 御開創550年記念法要

蓮如上人が吉崎の地に御坊を御開創されてから550年の節目となる年を一昨年を迎えたことを機縁に、真宗大谷派(東)・浄土真宗本願寺派(西)の有志が合同で企画された「吉崎御坊御開創550年記念法要」が、先日九月十五日から十七日までの3日間にかけて執り行われました。

法要は、吉崎御坊のあった御山でのお勤めから始まり、東西両別院でもお勤めされ、計6座の法要が修行されました。また、十五日と十六日の夜の法要では、東西両派の違いなどを語り合うパネルディスカッションが開催され、活発な意見が交わされました。この法要の実行委員会委員長である長尾祐二氏(福井教区阪北組受恩寺住職)は



「この法要が、単なる打ち上げ花火となるのではなく、さらにこれから東西の交流を盛んにして、蓮如上人のご遺徳とともに仰ぎながら、多くの方とお念仏をいただいでいくための導火線になってほしい」と、思いを語られました。

新しいカタチの別院護持団体  
「蓮如さんの  
吉崎西別院讚仰会」発足  
GO!

蓮如上人のご功勞に感謝し、本願寺吉崎別院の財政基盤を支援する団体「蓮如さんの吉崎西別院讚仰会(略称蓮如さんこう)」が、谷間徹誠氏(石川教区江南組光榮寺住職)が代表発起人となつて発足いたしました。

年会費(個人会員3千円、宗教法人会員1万円、企業会員3万円)をつのり、この会費収入のうちから、当別院への財的支援をはじめとして、人的支援等様々な有形無形の支援が企画されています。また、今後蓮如上人と吉崎の再発見に焦点をあてた法座会やシンポジウムの開催、交流会なども計画し、新しいカタチでの別院護持と別院を中心とした間法交流の場となることを期待しております。



ご入会について詳しくは、当別院までご連絡ください。心ある方のご入会をお待ちしております。

## 今年から永代経法要も 秋季永代経・彼岸会法要厳修

九月二十三日、当別院にて秋季永代経・彼岸会法要が厳修されました。また、例年春と秋のお彼岸の日に恒例となっている、東西吉崎別院合同での御山法要も併せてお勤めいたしました。なお今年からは、春秋の彼岸会の際に、永代経法要も併せてお勤めしております。今回の法要では、ご参拝の方に参拝記念品として「蓮如さんのお言葉缶バッジ」をお配りいたしました。この記念品は今後ともご懇志をいただいた方にお配りしていく予定です。ですので、ご希望の方はぜひ当別院までご参拝にいらしてくださいませ。



## ぎんなん お分けいたします

当別院名物の大銀杏から、今年もぎんなんの実がたくさん落ち始めました。昨年に引き続き、このぎんなんをお分けする予定です。十一月中旬ごろに準備ができる予定です。ご希望の方は「ぎんなん懇志」と記載の上、裏面のお振替・振込先までご懇志を納付ください。また、当別院でも直接お分けする予定です。



身をすてておのおのと同座するをば、聖人（親鸞）の仰せにも、四海の信心の人はみな兄弟と仰せられたれば、われもその御ことばのごとくなり。また同座をもしてあらば、不審なることをも問へかし、信をよくとれかしとねがふばかりなりと仰せられ候ふなり。

（『蓮如上人御一代記聞書』第四十条より）

山仕事で鍛えられたその方の手は無骨で、そして温かった。その手で、いろんなものを掴み、握りしめて生きてこられたのだろう。不器用だけど、純粹な方であった。別院に来るたびに世間の悪口を言い「世の中おかしくなってる」と文句ばかりを言っていた。ひとしきりグチを言いつくすと、今度は決まっぽつりぽつりと、これまでの人生の後悔を語られた。大病を患っている息子さんのことを話しては「俺みたいなもんが代わりに病気になるたらよかつたのに」と涙を流された。

ある時、ご自身にも癌が見つかった。それでも「俺みたいなもんはいつ死んでもいい。けどあいつらにお金を残してやらなあ」と山の仕事を続けられた。休みの日には朝から痛む足を引きずりながらやってきて、外では見せない顔になって「俺みたいなもんは、死んだら地獄やろうな」とつぶやかれた。「お御堂で正信偈のお勤めしよか」私がそう尋ねると、いつも「おう」と素直にうなずき、指の

曲がった手を不器用に合わせつつ、ご一緒にお勤めをされた。ご文章を聞くとときは必ず、帽子を脱ぎ頭を垂れ、静かに聞いてらした。

蓮如上人は、その方と同じ場所に座られ、兄弟だところばれる。世間の中で、誰にも見せられない顔を隠しながら生きている私たちに「如来様の前ではそんな顔をしなくてもいいのだよ」と語り掛けてくださる。そして、世間の多くの物と事を固く握りしめていなければならぬこの手を取って「どうか信をよくとれよ」と願ってくださる。

その方が亡くなって一年が経った。「死んだら地獄」とつぶやきつつも弥陀をたのむ姿が今も目に浮かぶ。きっと、お浄土に往生されても自ら地獄に赴いて、蓮如様の如く「信をとれやあ」と、亡者一人一人の手を取りつつ、お念仏をお勧めされていることだろう。



甘酒でほっこり年越し

### 吉崎の除夜の鐘と初詣

左記のとおり除夜会（除夜の法要）と、元旦会（元旦の法要）をお勤めいたします。除夜会の後、当院鐘樓にて除夜の鐘をお突きいただけます。お正信偈を日常の勤行として制定された地で、新年の最初に一緒に御勤めをいたしませんか？ 甘酒をご用意してお待ちしております。ぜひともお参りくださいませ。

【除夜会】 中宗堂 午後10時半より

本堂 午後11時より（重誓偈作法）

【元旦会】 本堂 午前0時より（正信偈行讃）

中宗堂 本堂終わり次第



www.hongwanji-yoshizaki.info

本願寺吉崎別院  
公式サイト

#### ご懇志のお振替/お振込

【ゆうちょ銀行からのお振替】  
記号・番号：00780-7-4561

【ゆうちょ銀行以外の金融機関】  
ゆうちょ銀行 ○七九店 <当座> 0004561  
※ yossaki@mx3.fctv.ne.jp 宛にお名前とご住所のご連絡をお願いいたします。

#### 年間行事予定

除夜会/元旦会	12月31日/1月1日
春季彼岸会	春分の日
御忌法要	4月27日～5月1日
報恩講	8月上旬
秋季彼岸会	秋分の日

#### 寺務受付

9時～16時（一座経は事前にご予約ください）  
※都合により閉めている場合がございます。

#### 別院へのアクセス

【北陸自動車道】 加賀インターから約10分 / 金津インターから約15分  
【 JR 】 芦原温泉駅・大聖寺駅から車で20分  
【えちぜん鉄道】 あわら湯のまち駅から車で約20分  
【コミュニティバス】 「あわらぐるっとタクシー」 道の駅「蓮如の里あわら」下車  
「キャン・バス」 海まわり線 越前加賀県境の館下車

